

## 生徒シンポジウム 2017 第 12 議題

### 「先生、それに何の意味があるんですか？～理想の学校ぐらし～」

議長：津田 恵佑(早稲田大学高等学院)

書記：白石 杏(筑波大学附属高等学校)

テーマ：「先生、それに何の意味があるんですか？～理想の学校ぐらし～」

目標：理想の学校ぐらしができる学校制度

#### 1 アイスブレイク

---

##### ヒーローインタビュー

日本女子	新高3	宇留野さん	ソフトテニスクラブ	ホテルビュッフェのトマトの覇者
芝浦工大	新高3	中島さん	ドリアライスさん	
横浜女学院	新高2	田嶋さん	KSのボス	恋に焦がれるJK
世田谷学園高校	新高3	新谷さん	高尾駅で一晩過ごした	
鷗友学園	新高2	品川さん	サックス	
浅野中学	新中3	川越さん		
大妻中野	新高2	小山さん		
筑波大附	新高2	白石		
早大学院	新高3	津田さん	家庭教師	子どもの未来を切り開く

#### 2 今の学校の授業スタイル、時間割のメリット・デメリット

---

＝メリット(今やっているシステムで成功した例)＝

掃除をやってくれる

校則がない

制服があるうえでの私服

英語と数学が一年早い→高3で全部の復習

お金とものがたくさんある

＝デメリット(理想の学校にするために克服する点)＝

英語の授業が All English→高校に入ってから文法

飛行機が使えない→修学旅行とか

携帯使用禁止

パソコンを自由に使えない

先生が生徒の意見を潰しにかかる

時間割に偏りがある→数学が二時間続いてたりする

道徳の授業+仏教的要素→意味があるかどうか不明

文化祭がクラブ単位→運動部は何やるか困っちゃう！

＝メリット・デメリットのどちらにもとれる＝

芸術選択と理科選択がある

IT 教育→タブレット一人一台

グローバル人材育成の授業

### **3 本来の学校のあるべき姿とは=学校の存在理由**

---

・高校は義務教育ではないのにわざわざ受験して入って、そのうえ高校にも学習指導要領がある  
→指導要領は一応やる姿勢を見せなくてはいけないから一般の教科書と学校個別のテキストをどちらも買わなくてはいけない  
→ついていける人(高校受験して入ってきた人)にとってはメリット。そうではない人にとってはデメリット。  
→中高の付属と高大の付属の差が出る。中高は大学受験を見据えているからこそスピードの速いような授業も生徒に受け入れられている。高大は大学が決まっているからその先の将来などについて考えることができる。

・学校ごとに将来を見据えて統率をとることが必要  
→偏差値ごとに役割を決めてしまう？そのうえで途中からの参加を禁止にする(=全部付属校にする)。そうすると割と一発で人生が決まってしまう。  
→それを日本でやる必要はあるか？  
→偏差値が真ん中ぐらいの学校とかは途中でランクが変わると学校のシステムが大きく変わるので混乱が生じることもある

・学校固有の校風  
→工業に特化している、英語教育など

・「将来どこかの企業など国に奉公するための学校教育」という考え方はどう？  
→高校をただの通過点として考えるのはもったいないけど、理想の学校を追い求めていくとそうになってしまう

・理想の学校のイメージ  
→自分探しをできる場所。部活をやっているかいないかでも大きい。中高一貫だからこそ生徒に余裕ができる。  
→自分が求めているものがパズルのように組み合わせさったところ。一概にはいえない。  
→自分がやりたいことを考える場  
→小学校の頃に考えていたやりたいことを見つめなおす場所  
→大学受験をするための資格を得る。大学に入るためのステップ。大学でほとんど将来が決まってしまう。最近では大学の名前はほとんどみない！むしろ高校の時に勉強の他に何をやってきたか。  
→やりたいことを専門的にできるのはやっぱり大学。その行きたい大学に行くためには高校が必要。

**自分のやりたいことを見つける・見つめる場所**

**自由な時間を多くとれる場所**

**大学受験、ひいては将来の足掛かりになる場所**

## 4 理想の学校システム＝具体案

---

選択肢がたくさんある

好きなことを好きなだけできる

学校内にエレベーター

図書館が大きい

海外研修が多い→有志の人がいけるところ。SGH とか以外にも

自分がやりたいことを考える時間がある

一生の友達を見つける→学校側はサポートしにくい？校外学習を増やす。

校風の中で生徒が自由にできる

学食のメニューを増やす

校則＝法律→校則がない学校

勉強をめっちゃやってくれる→勉強だけはやってくれる

様々な体験ができる

交換授業がある学校→やりたいことに対応した授業が受けられる。職場体験

受験モードに切り替える→特進クラスとかではなく、学年全体で。

科目数が多い

## 5 まとめ

---

私たちの班の理想の学校とは、

将来に向けての**選択肢が多い**

**設備がしっかりしている**

**校則がない**

**キラキラ JK・DK 生活を送れる** 学校である。